

ゆうかり放送委員会提供
ゆうかりに乾杯
第3回放送の概要 (2009年6月27日放送)

パーソナリティ

さくら (安本久美子)
タロウ (佃 由晃)
なかちゃん (中嶋邦弘)

コアラさんの地域瓦版

アコちゃん (三木文子)



ミキサー

門ちゃん (門田成延)
一ノ瀬悟

相談役

わだかん (和田幹司)

会計

小山俊則

“放送後の乾杯”

本日は、JR兵庫駅山側すぐの神戸ルミナスホテル (電話：078 - 511-7700) のご協力でお送りしました。

本日は、大学コンソーシアムひょうご神戸のご協力でお送りしました。

1. オープニング

先月の放送以降のトピックスとしては、新型インフルエンザが増え続け、6月24日現在、世界では56,000人、国別ではメキシコ7,800人、カナダ6,400人、チリ4,300人、オーストラリア2,800人など、特に南半球は冬のため増え続けており、わが国も今冬の流行が懸念される。マスクや消毒剤などは今は店頭に充分あるので、今から備えを充分されたいかがでしょうか。

最近の明るい話題としては、ヴァンクライバーン国際ピアノコンクールで辻井伸行さんが優勝されたことです。記者会見を見て泣けてきたし、演奏ビデオを見ても大変素晴らしかった。有名なピアニストのホロピッツを一瞬思い出させるような演奏を感じた。

2. ゲストコーナー：震災とホテル経営

兵庫駅前神戸ルミナスホテルを経営しておられる東澤さんから経営の苦労話を伺った。ホテルの前身は母親が昭和27年に営業を始めた星月旅館である。東澤さんが経営にタッチし始めたのは、自分で事業を始めたいとの思いから、昭和43年より旅館を手伝い始めた。旅館は当初から近くの造船所のドックに入った船員の宿泊施設として利用され繁盛していた。観光客が来始めたのは昭和52年頃で、NHKの朝ドラ(風見鶏)の影響が大きい。その後ポートピア、ユニバーシアードで観光客が増え、昭和60年頃までは企業も高度成長でお客さんが多かった。

昭和45年以降、和室、大部屋が時代の要求に合わなくなってきたので木造部分の建替えや、和室の洋室への改装を行ってきた。洋室への改装では風呂とトイレをどうするかで困ったが、昭和47、48年頃よりユニットバスが出始めたので採用し、畳をカーペットに、壁にクロスを貼ったもので、お客さんには好評であった。昭和59年にエレベータを設置し、最終的に63室のホテル星月が完成した。増改築が一段落したので新幹線西明石駅の近くに開業後6ヶ月で休業したホテルがあり、新幹線の騒音と設備が正常に動くかが心配であったが買収してホテル営業をすることにした。

震災時はホテル星月が増改築を繰り返していたので自宅で一瞬ダメかなと思い、急いでホテル

に駆けつけた。ホテルは4階建ての1階が完全につぶれ3階建てになっていた。お客さんの誘導はフロントの人が生き埋めになっていたため、近くの人が消防署に連絡し署員の方が誘導してくれた。1階にいた泊まりの従業員は崩れ落ちた鉄筋コンクリートのわずかの隙間でかすり傷一つせず奇跡的に助かった。ホテルは倒壊したが人的被害はなかった。ホテル星月はダメになったが西明石のホテルは大丈夫だったので休まず営業を続けた。ホテルの撤去費用は神戸市が負担してくれた。再建に当たっては融資を受けるのに苦労した。復興前と同規模であれば融資に問題はなかったが、その場合借入金の返済が出来ないので規模を3倍程度大きくすることにしたため、完成後の稼働率が問題となった。そのため銀行員と一緒に企業を廻りどの程度の集客が見込めるかを聞いた結果感触は悪くなかった。その結果融資を受けられ今のホテルが完成した。

星月旅館の裏の土地の地主が神戸2中出身の先輩で、住宅10軒ほどの土地を所有しておられた。後輩が頑張っているということで譲ってもらうことが出来た。人が住んでいたのですぐに役立つ土地ではなかったが、震災の結果としてその土地を利用することが可能になり、震災後ホテルの規模を大きくすることが出来た。

ホテルと海外という視点でみると、三菱グループが海外進出し中国などで発電所を建設した後、現地採用した人の研修者や、川崎重工車両関係の現地合弁会社から多数の技術研修生等のビジネス客が宿泊してくれた。観光客としては台湾のお客さんが多かった。ホテル従業員についてはベッドメイク、清掃などのつらい仕事を中国残留孤児が4~5年働いてくれていたし、またレストランのホール係として大学生としての4年間働いてくれた。その間中国からの宿泊客も多く通訳もやってくれたので大変助かった。長田の日本語学校で2年間勉強している中国人学生5~6人が清掃のアルバイトでよく働いてくれた。

3. ゆうかり大好きコアラさんの地域瓦版

蒸し暑い日本の夏を無事に乗り切れるよう多くの神社で夏越の大祓として「茅の輪潜り(ちのわくぐり)」が行われる。これは旧暦の6月と12月の晦日(新暦では6月30日と12月31日)に行われる除災行事である。最近では新暦の6月末から8月にかけて行われるところもある。長田神社では7月17,18日に詩吟、琵琶、民謡踊りの奉納がある。生田神社は7月15日、湊川神社は6月30日に神事がある。

保育・教育現場での発達障害・発達の遅れについて考える「子育て支援シンポジウム」が、7月7日(火)の18時から三宮のセンタープラザ9階で開催される。主催は大学コンソーシアムひょうご神戸で参加費は無料。参加御希望の方は参加者氏名、住所、電話番号をFAXで078-591-2465までお送りください。尚、インターネットでの申し込みも可能です。

新型インフルエンザで延期された神戸祭りが7月19日に開催される。

「おいでよ神戸」キャンペーンが実施されており、各施設のキャンペーンの内容は神戸市のHPに掲載されている。

有馬の金の湯、銀の湯1万名無料ご招待。往復はがきで申し込む。締め切りは7月2日と7月21日。

4. 次回(7月25日)の予定

兵庫高校の校章のデザインをし、妹尾河童さんの友人でもある林五和夫さんにお話を伺う。